

2011年6月30日

2010年度「E-ことCSRポイント制度」で寄付実施  
～ 社員のCSRの取り組みを金額換算、総額164万円を5団体へ ～

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長 櫻田謙悟）は、社員のCSRへの取り組みを推進するために、2009年7月に新設した「E-ことCSRポイント制度」を2010年度も継続実施しました。このたび、19,371名の社員が自分自身のCSRへの取り組みをチェックし、その寄与度に応じて獲得したポイントを金額に換算した総額1,640,302円を寄付します。

寄付先は、環境または福祉分野の団体のうち、特に東日本大震災の復興支援に取り組む5団体とし、これらの団体に対して7月上旬までに寄付を実施し、各団体の活動に役立てていただきます。

1. 「E-ことCSRポイント制度」の概要

本制度は、社員がeラーニングを通じて「CSR基本行動」、「職場でのエコ活動」、「社会貢献活動」、「家庭での取り組み」、「損保ジャパングループの取り組み」の5つの切り口からなる20項目について、日常の行動をチェックし、そのチェック結果をもとに会社が社員の取り組みに応じたポイントを金額に換算し、NPOなどの団体に寄付するものです。

2. 本制度の参加社員数・寄付金総額

本制度に参加した社員数・寄付金総額は以下のとおりです。

参加社員数	19,371名
寄付金総額	1,640,302円

3. 寄付先の選定

今年度は社員アンケートの意見を反映させ、環境または福祉分野で活動する団体への寄付が決定しました。さらに2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、これらの団体のうち特に東日本大震災の復興支援に取り組む以下の5団体を選定しました。

**【環境分野】NPO法人 海は森の恋人 緊急支援の会（宮城）**

『自然の「環」から、人の「和」を育てよう！』をキャッチフレーズに、宮城県気仙沼市で環境教育・森づくり・自然環境保全の3分野で活動しています。本団体は、東日本大震災により甚大な被害を受けており、寄付は、事務局復旧のための備品購入や環境教育などの活動資金として活用される予定です。

**【環境分野】 NPO法人 気象キャスターネットワーク（東京）**

本団体は、環境・気象教育や防災知識の普及、啓発を行い、防災上重要な役割を果たす気象キャスターを育成しています。寄付は、小学校における自然災害から身を守る防災教育に活用される予定です。

**【環境分野】 NPO法人 あぶくまエヌエスネット（福島）**

本団体は、福島県あぶくま南部高原鮫川村で「土、自然から学び共に生きよう」をテーマに山村での生涯体験交流学习を実施しています。寄付は、福島原発事故の影響で野外での活動を制限されている福島の子どもたちを対象とし、夏休みに北海道で林間学校を開催する「ふくしまキッズ夏季林間学校」に活用される予定です。

**【福祉・災害医療分野】 一般社団法人 日本災害医療ロジスティクス協会（東京）**

本団体は、大規模災害発生時に災害医療を行う医療部隊への支援を実施しています。寄付は、被災地に仮設の診療施設を設置し、被災者の医療ニーズを満たす活動に活用される予定です。

**【福祉・災害医療分野】 JPCom（Japan Philippines Community & Communication）**

**（大阪）**

本団体は、子どもたちの笑顔が広がる「ちいき」と「くらし」をつくることを目的に、フィリピンの人々と協働で、フィリピン農村部等の経済的自立支援および障がい者の自立生活支援を進めています。寄付は、本団体が実施する宮城県石巻市を中心とした被災地の子どもたちの支援に活用される予定です。

**4. 今後の展開**

今回の寄付にとどまらず、社員向けに本制度の活動報告会を実施するとともに、各団体と継続的に連携した取り組みを行う予定です。また、2011年度の「E-こと CSR ポイント制度」の実施は、2012年1月を予定しています。